

受容能力を試されているのかなあ～

8月末に体調にちょっと気になる点（HP「雑学 BN」の随想等関係（X）、2013.09.04.「『あるがまま、なるがまま』に、自然体で向き合いたい」：参照）を感じ、9月にあれこれ精密検査を受け、今月14日に第1回抗ガン剤投与を受けるために9日に入院。

今回の入院は抗ガン剤投与でどのような、どの程度の副作用がでるか、個人差があり分からないので、初めての抗ガン剤使用の患者は投与日から2週間入院がこの病院のマニュアルのよう。

副作用は投与後3～10日に出てくるようで、また、抗ガン剤投与は化学療法であることから1週間後当たりから血液数値に影響が出てきたり、3週間後ぐらいから脱毛が始まることもあるとか。

2, 3週間後から自分にはどういった症状が出てくることやら……。

幸いというか、入院中はこれが副作用かなと思う症状はでたが、治療をするほどの顕著な副作用症状はでなかったので、明日退院の許可がでた。

また、初回で顕著な副作用症状はなかったので、次回の投与は通院の外来で対応できるだろうとのこと。

今回の入院で一番感じたのは、ガンであることや余命がそう長くないことへの理屈的な不安等よりも、抗ガン剤はガン細胞をやっつけるが同時に健康な細胞もやっつけることによる体力低下を日々体感しつつ、また、免疫力低下に伴う健康管理への配慮のために日常生活や行動範囲が先々大きく制限されることが予想され、ついあれこれ考えてしまう不安・葛藤する自分に自身がどう付き合うかが、患者にとって最もしんどいことではないかと思った。

入院中はオヤジは退屈だろうからと、息子が無線でノート PC でメールや HP 等更新できるようにと日常とあまり変わらない PC・ネット環境設定にしてくれ（この記事も病室から発信している）、「あるがまま、なるがまま」と自然体で向き合おうと心がけているが、やはり、つい、つい、あれこれと……。

日頃から HP 等で「受容能力：自分に不都合なことが起きた時に、その不都合さの中でも人間として生きているという証を見ることが出来る能力」と発信しているので、自分自身の受容能力はどうかを試されているのかなあ……。

それはさておき、これからも、変な気遣いなく従来通りのお付き合いをお願いします。